

「ながさきブルードクター」って知ってる？



「ながさきブルードクター」とは、こどもの発達に関する困り感や悩みについて相談支援を行う医師で、長崎県のホームページで公表しています。こどもの発達上の問題（神経発達症、発達障害）は、早い段階で医療や療育に繋がることで、困り感の低減や基本的な生活能力の向上を図ることができます。

こどものこと、誰かに相談したいな・・・

運動機能の問題

- 発達の進み方（首がすわる、立つ、歩くなど）が月齢よりもゆっくり
- 手先が不器用、身のこなしが悪い

コミュニケーションが取りにくい

- 音に過敏で気が散ってしまい、取り組めない
- かんしゃくやこだわりが強い

言語発達の遅れ

- 発音が不明瞭
- 言葉の理解（簡単な指示、物の区別）が苦手

いつも落ち着きがない

- どんな場面でもじっとしてられない
- 衝動的な行動が目立つ
- 会話が一方的、場の雰囲気合わないことを平気で話してしまう

日常生活の問題

- 夜なかなか寝ない
- トイレトレーニングが進まない



そうだ！  
ながさきブルードクターに相談してみよう！

Q1. ながさきブルードクターが、どこにいるのか知りたい。

A1. 県ホームページに、ながさきブルードクターの名簿を掲載しています。  
相談方法等の詳細につきましては、医療機関に直接お問い合わせください。

長崎県 ブルードクター

検索

QR  
コード

Q2. ながさきブルードクターを受診する場合には、どのようにすれば良いでしょうか。

A2. 受診前には必ず、ながさきブルードクターがいる医療機関に電話をして、相談内容をお伝えください。そのうえで、受診の日時を設定してもらえます。

Q3. なぜ、こどもの発達上の問題は、早期療育・早期対応が大切なのですか？

A3. 発達特性（神経発達症、発達障害）は先天的な脳機能の問題で、大きな異常であれば成人まで持ち越しますが、多くは発達の一時的な滞り（遅れ）であり、持続的なものではありません。そのため、早期から「一時的な滞り」に対して支援（療育等）を行い、訓練と学習を継続することでキャッチアップさせる（遅れを取り戻す）ことができます。それが、成長に伴って生じる「こども自身や周囲が感じる社会生活上の問題や困り感」を低減させ、こどもの自己肯定感を高めることにつながるのです。  
相談支援機関や病院で相談するのは「診断をつけるため」ではなく「こどもの状態を正確に把握し適切に支援する」ためだにご理解ください。

Q4. 困ったときは、どこに相談したらよいですか？

A4. こどもの発達についてのご相談は、まずは通っている保育所や幼稚園、お住いの市町の発達相談窓口をご利用ください。すべてのケースが必ず医療にかからなければならないわけではありません。病院に相談する場合には、ながさきブルードクターをご利用ください。療育に関するご相談や利用できる施設等については、お住いの市町へご相談ください。  
（所在地・連絡先は、各市町の母子保健担当課、障害福祉課等にお問い合わせください。）

長崎の  
恋



「長崎の変」とは？

長崎の新たな変化やチャレンジを応援し、その魅力を発信するプロジェクトです。

にゃんとか  
せんば。

